

future

みんなで考えよう 施設とまちの これからを



今まで大丈夫！？ 新潟市の公共施設

- ・老朽化する施設が増加
- ・公共施設の維持にもお金がかかる
- ・人口の減少傾向と市民ニーズの変化
- ・限られた財源をどう使っていくべきか
- ・公共施設のあり方を見直すために

公共施設のあり方検討で 利便性アップ！

- ・曾野木地域（江南区）のケース
- ・葛塚地域（北区）のケース
- ・潟東地域（西蒲区）のケース

新潟市



将来世代のためにも公共施設の最適化を目指して

公共施設は、これから時代に合った機能や総量にしていくことが大変重要です。そのため、将来世代にも使いやすく、さらに財政的な負担を持ち越さないために、公共施設のあり方を早急に検討し、将来の新潟市民へ健全な状態で継承していく必要があります。市民のみなさんと目的を共有し、地域との対話を一層進めていきます。

今まで大丈夫!? 新潟市の公共施設

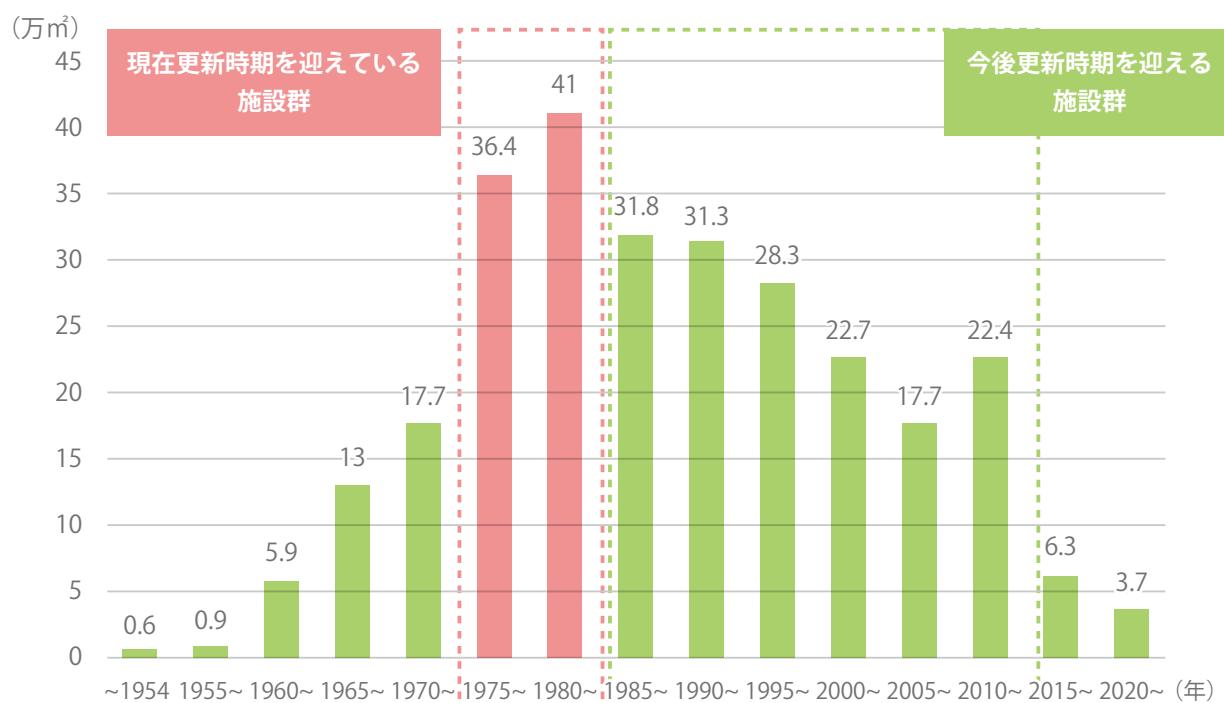
公共施設の老朽化とその対応が、新潟市も含め、全国的な課題になっています。考えてみませんか？地域の公共施設のこと。



トピック 01 老朽化する施設が増加

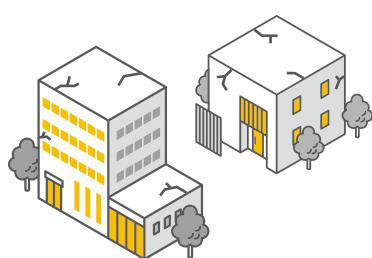
現在使われている公共施設は、人口増加が著しかった昭和50年代(1975~1985年)に整備されたものが多く、**老朽化による修繕や建て替えの時期が一斉に到来しています。**

建築年別にみた公共施設の整備状況



「新潟市財産経営推進計画基本方針」から抜粋

更新が必要な施設は増加傾向に



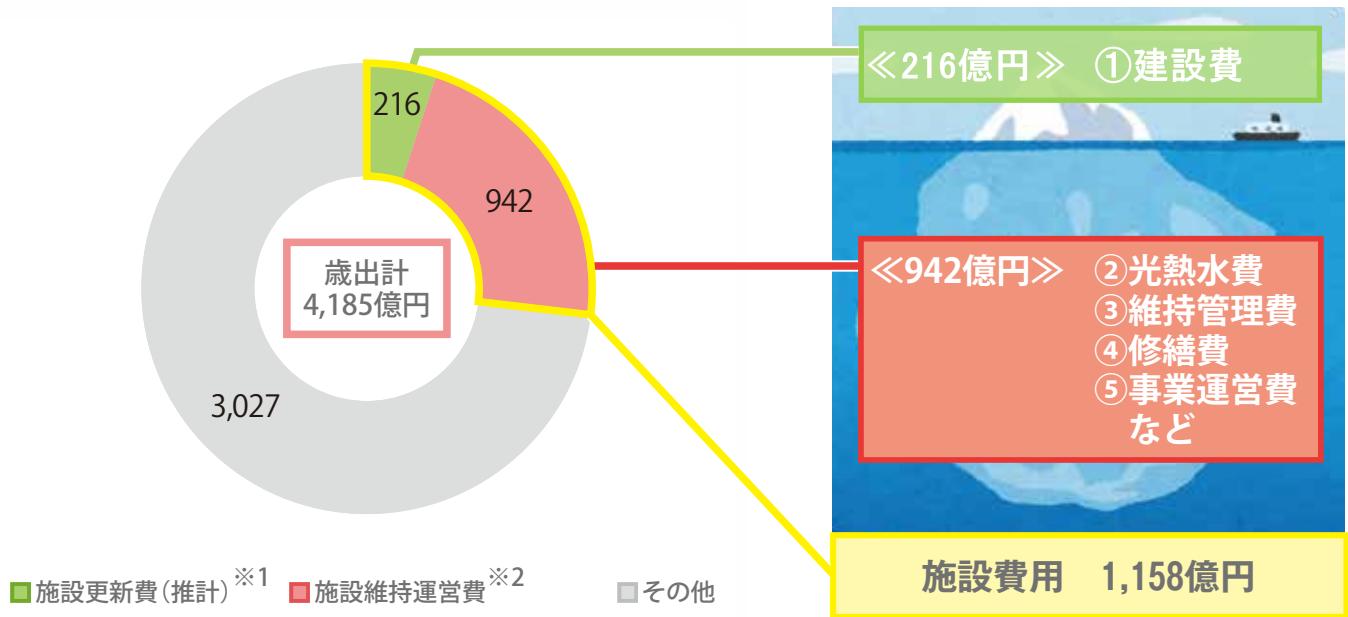
老朽化する施設が増え、管理に費用がかかる

老朽化したすべての施設を、修繕・建て替えをし、維持していくには、多くの費用が必要となります。

トピック 02 公共施設の維持にもお金がかかる

「トピック 01」で更新が必要な施設の増加が今後見込まれることについてお伝えしましたが、施設の維持・管理や運営には、多くの費用がかかります。

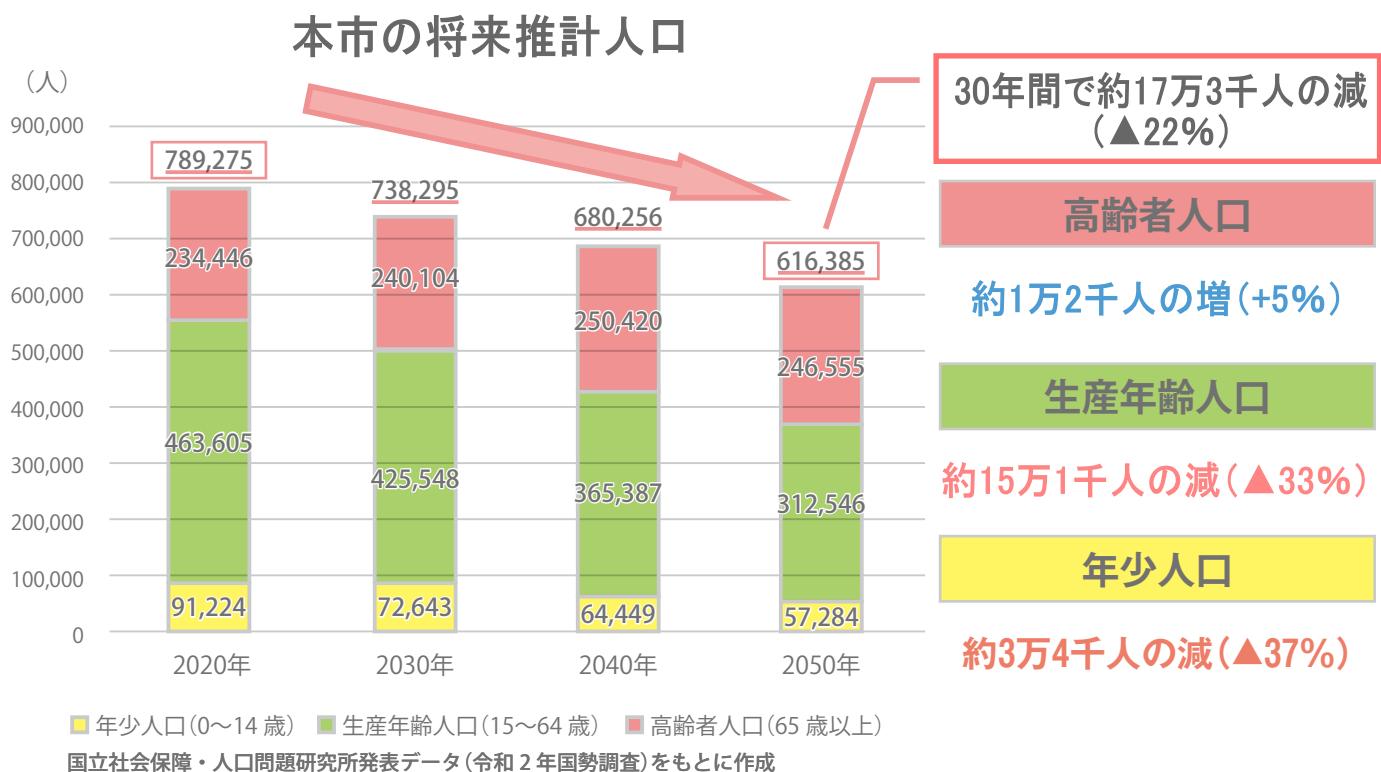
令和6年度 本市の一般会計歳出予算内訳(億円)



施設にかかる費用は建設費以外にも、施設の維持・管理や運営にかかる費用があるため、人口増加が著しかった昭和50年代に整備された施設すべてを維持することは難しくなっています。

トピック 03 人口の減少傾向と市民ニーズの変化

本市の人口は2005年をピークに減少に転じ、2040年には、70万人を下回る見込みです。とりわけ、勤労世代である生産年齢人口(15～64歳)や年少人口(0～14歳)の減少が著しい状況です。また、世帯構成が大きく変わることや民間事業者による各種サービスの充実、デジタル化の進展などにより、市民ニーズの変化が生じています。



公共施設とサービスを全て維持することが困難

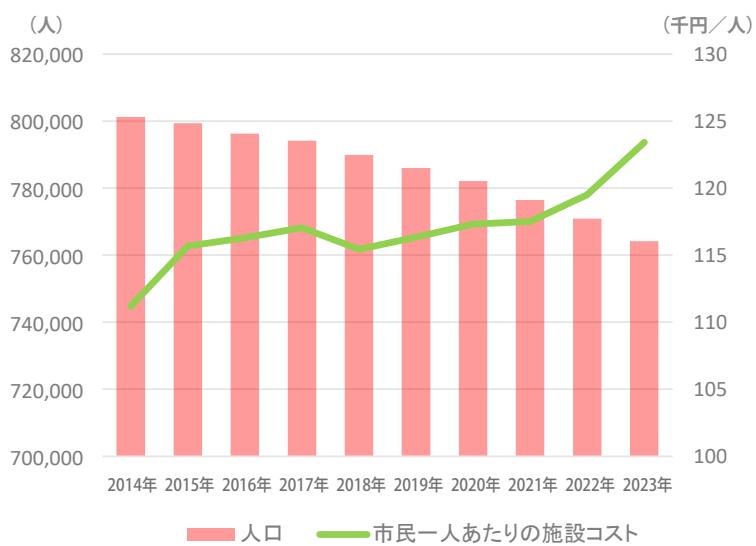
少子・超高齢化などで人口が減ることで税収が減っていく見込みのなか、限られた税収で今までどおり公共施設を運営することは厳しい状況です。

また、市民ニーズの変化などにより、公共施設のあり方も変わる可能性があります。

トピック 04 限られた財源をどう使っていくべきか

施設の更新や維持・運営の費用が増加する一方で、その費用を支える人口が減っていく見込みであることや、利用が減少している施設もあることから、**公共施設に関する費用をどのように減らしていくかが課題**になっています。

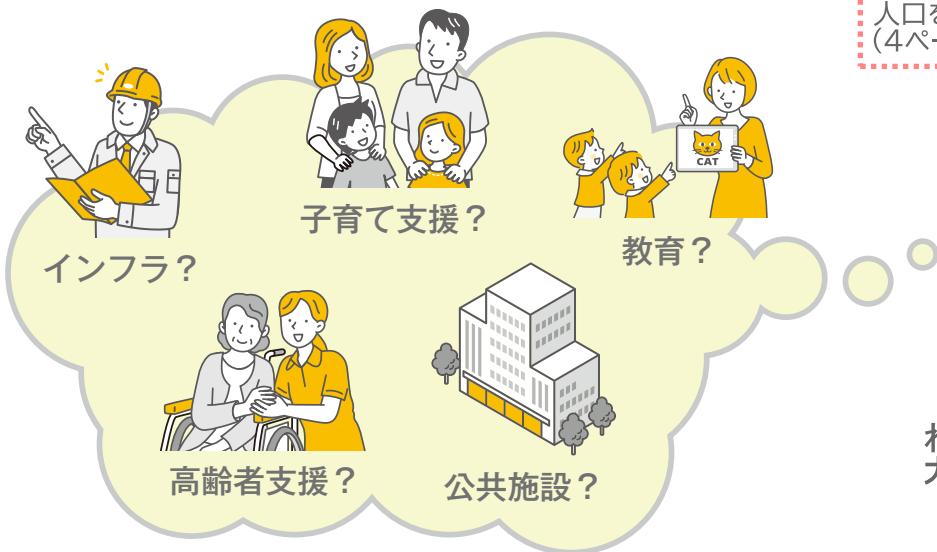
人口と施設コストの関係



市民一人あたりの施設コストを減らすためには…

- ①施設の支出を減らす
 - ・開館日・時間を精査し、利用の少ない日・時間を閉館する
 - ・施設数を減らす
- ②施設の収入を増やす
 - ・受益者負担(使用料)を増やす
 - ・施設利用者を増やす
- ③人口を増やす

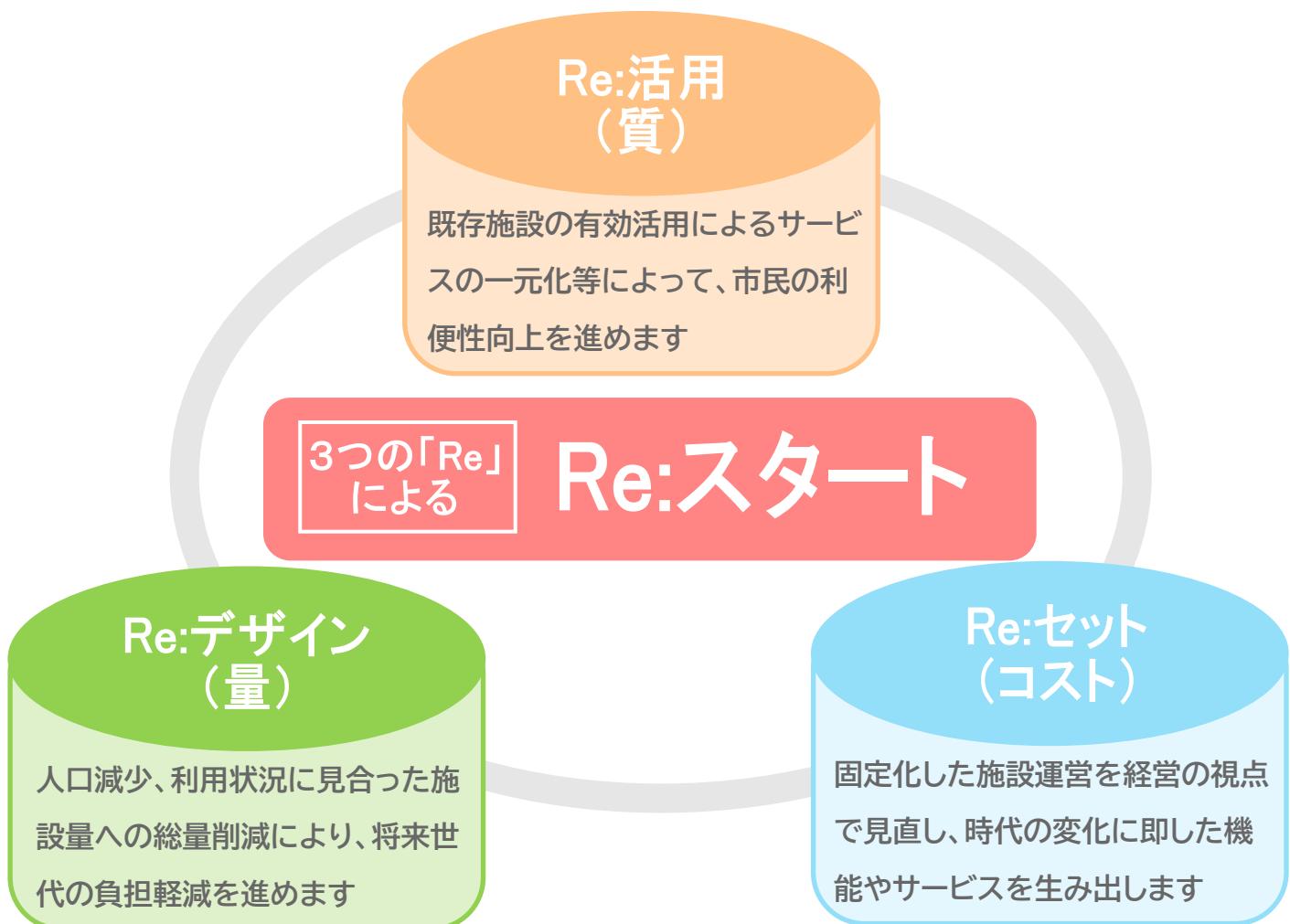
将来推計人口が減少傾向であることから、人口を増やすことは難しい
(4ページ・トピック03参照)



インフラの維持や社会保障などの費用の増加が見込まれる一方で、税収の減少が見込まれています。昭和50年代の人口増加の時代にあわせて整備された公共施設は、現在の人口減少の時代にあわせて見直す必要があります。

トピック 05 公共施設のあり方を見直すために

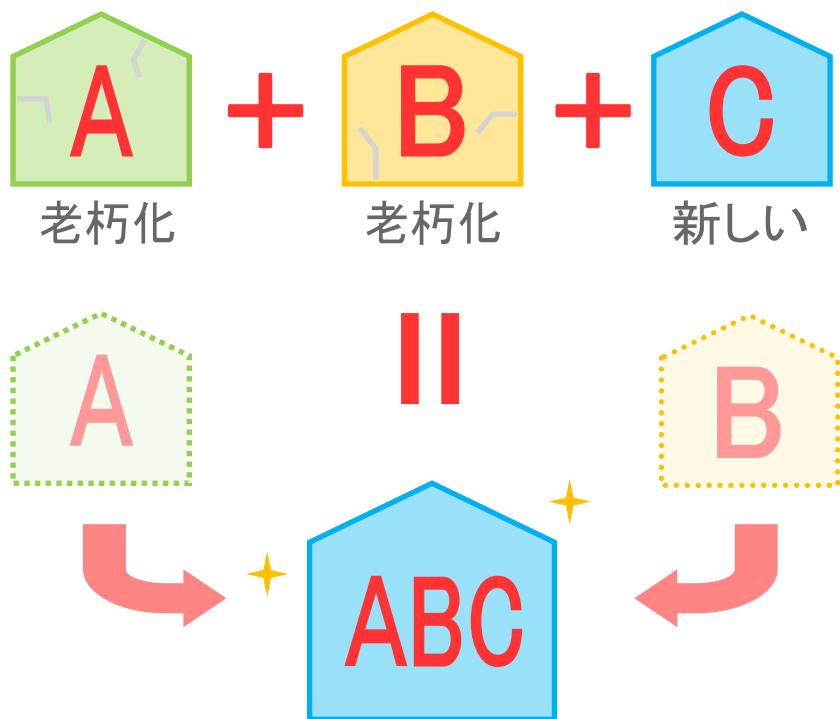
公共施設が迎えている問題に対応するために、「これからの公共施設のあり方」の検討を3つの視点で「Re:スタート」させ、今ある公共施設を確実に最適化していくことが重要です。地域のみなさんとの話し合いなどを通じて、これからの公共施設のあり方を具体化していきます。



いろいろな方法で施設を効率的に使います

- ① 無駄をなくす工夫をして施設を使い続ける(継続・運用上の工夫)
- ② 1つの施設で今よりも多くのサービスを利用できるようにする(多機能化・複合化)
- ③ 複数の施設を1つにまとめる(集約化)
- ④ 施設で利用できるサービスを、より必要とされるものに変える(用途転用)

多機能化・複合化の場合



質の向上

さまざまな施設が1つの施設に集約されることで、1か所で複数のサービスを受けられるようになります(ワンストップ化・施設の多機能化)

量の削減

人口減少・利用状況に見合った施設量への総量削減により、将来世代の負担軽減を進められます

コストの削減

施設を集約することで、施設の維持管理の見直しや職員数の見直しなど、施設運営を経営の視点で見直し、時代の変化に即した機能やサービスを生み出せます

地域ごとに施設のあり方を検討していきます

地域のみなさんとの話し合いなどを通じて一緒に地域ごとの実行計画をつくります。

4つのコミュニケーション手法(例)

ワークショップ

参加者のみなさんの間でグループ討議により議論をしていただきます。その際、第三者的立場で議事進行をするファシリテーターが議論を円滑に進め、みなさんのご意見を取りまとめます。



パネル展示型説明会

施設情報や検討状況などを示したパネルを地域の公共施設や商業施設などに展示し、地域のみなさんにお伝えしながら、ご意見を伺います。



広報紙

市の検討や地域のご意見などを、回覧などでみなさんにお伝えし、ご意見を伺います。



コミュニティ会議

公共施設の利用者や地域で活動している団体の方へ個別にご意見を伺います。



地域の意見が反映されるんだ！

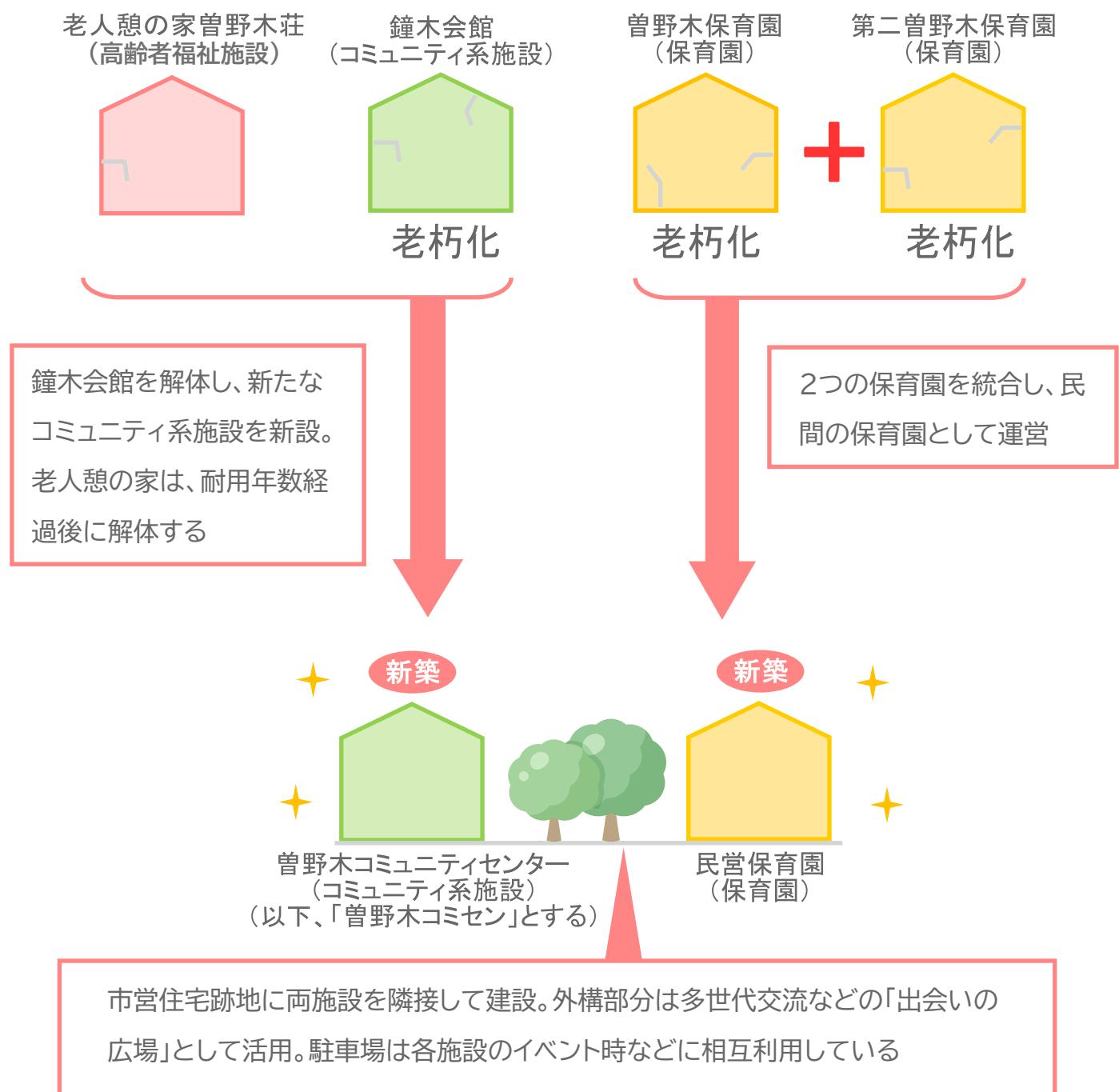
地域のみなさんが考えたり、意見を伝えたりする環境を整え、みなさんと一緒に公共施設の総量を削減しながら、サービス機能を維持し地域の課題を解決できるように検討し、市が責任をもって計画をつくるとともに、公共施設の最適化を着実に進めていきます。

公共施設のあり方検討で利便性アップ！

事例紹介①

新しく施設を建設 曽野木中学校区(江南区)

曾野木地域では、市営住宅跡地活用の検討や、曾野木・第二曾野木保育園の老朽化による統合の検討をきっかけとして、実行計画の策定に着手し、平成28年10月から翌年5月まで全4回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。



コミュニティ系施設と保育園が隣り合う、多世代が交流しやすい施設へ



①



②



③



④



⑤

①曾野木コミセンと民営保育園 ②出会いの広場を利用した曾野木たんぽマルシェ ③サークル活動「生け花」 ④学習スペースを利用する中学生 ⑤サークル活動「ベビーヨガ」

こどもたちや子育て世代にも利用しやすい施設にしたい



曾野木地区
コミュニティ協議会
会長 桜田 博治 さん



えていました。

今では、学習スペースを利用するこどもたちや
幼児連れの子育て世代も増えてきました。

今後は、マルシェや創立祭、歳末お楽しみ会を開催するなど、だれで
も利用しやすい施設を目指しています。

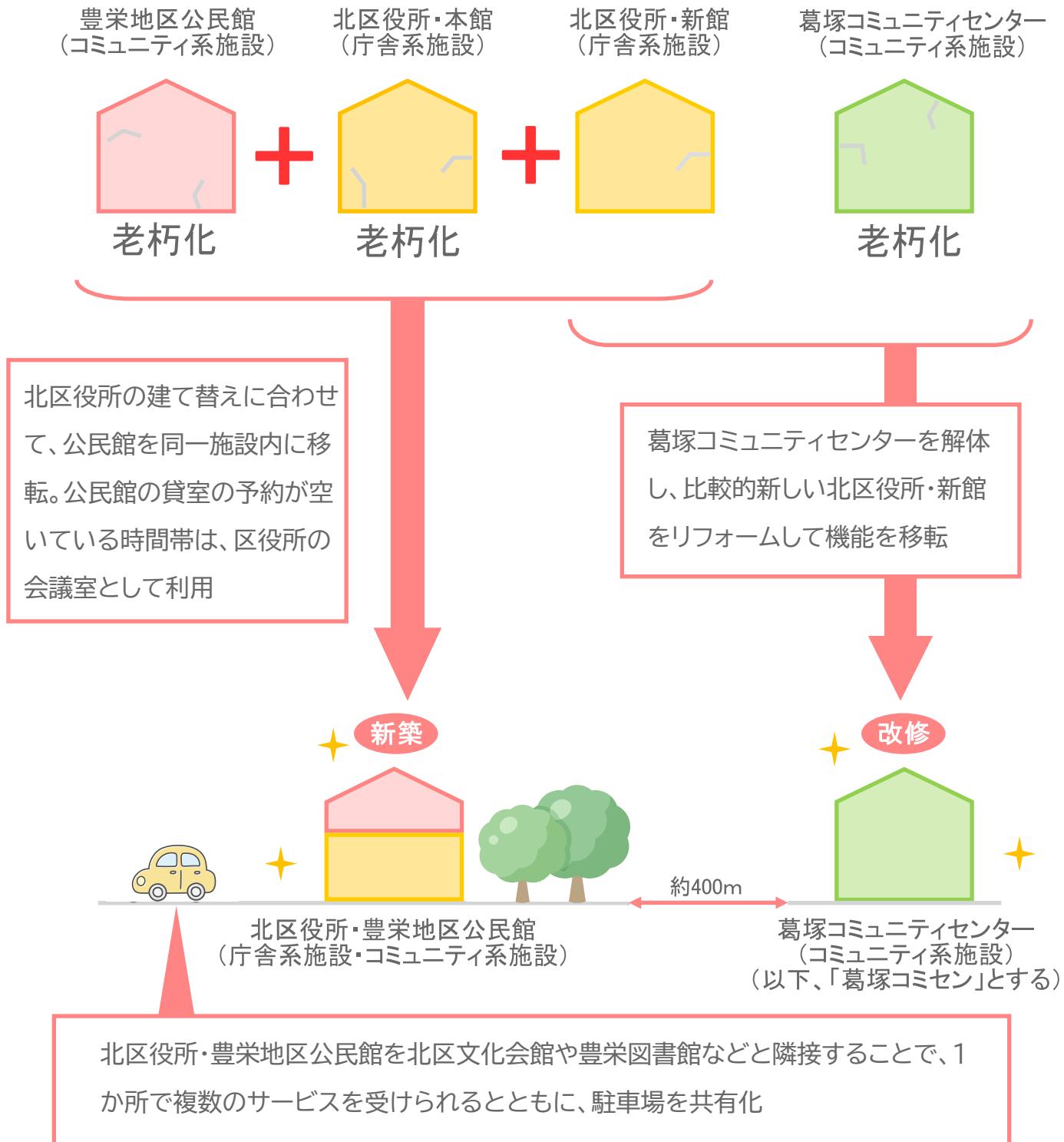
こどもたちも参加する曾野木たんぽマルシェ



事例紹介②

新設とリフォーム 葛塚中学校区(北区)

葛塚地域では、北区役所新庁舎の整備や2小学校の統合をきっかけとして、実行計画の検討に着手し、平成28年10月から翌年9月までの全6回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。



読書も、手続きも、地域活動も。あれこれ用事がここでOK！



①



⑤



⑥



②



③



④



⑦



⑧

⑨

【葛塚コミセン】①葛塚コミセン外観 ②サークル活動「文化・教養」③学習スペースを利用する高校生 ④サークル活動「ダンス」
【北区役所・豊栄地区公民館】⑤北区役所前のモニュメント ⑥北区役所周辺の公共施設 ⑦サークル活動「日本語教室」⑧キテ・ミテ・キタ区イベント ⑨音楽芸能発表会



ダンスサークル With Step
若尾 恵子 さん(左)
長谷川 知佳 さん(右)

「笑顔あふれる、地域をつなぐ」サークルを目指して

当サークルでは、葛塚コミセンや豊栄地区公民館を利用して毎週練習し、小学校低学年から社会人まで幅広い年代の方が、ダンスを楽しんでいます。新潟市が新しい葛塚コミセンをどういう施設にするか考えるととき、利用者である当スクールも一緒に考え、防音性が高い壁や大きい鏡を設置してもらい、とても利用しやすい施設になりました。

北区の祭りやイベントなどで、日頃の練習成果を発表しています。これからも踊って地域を盛り上げていきます。

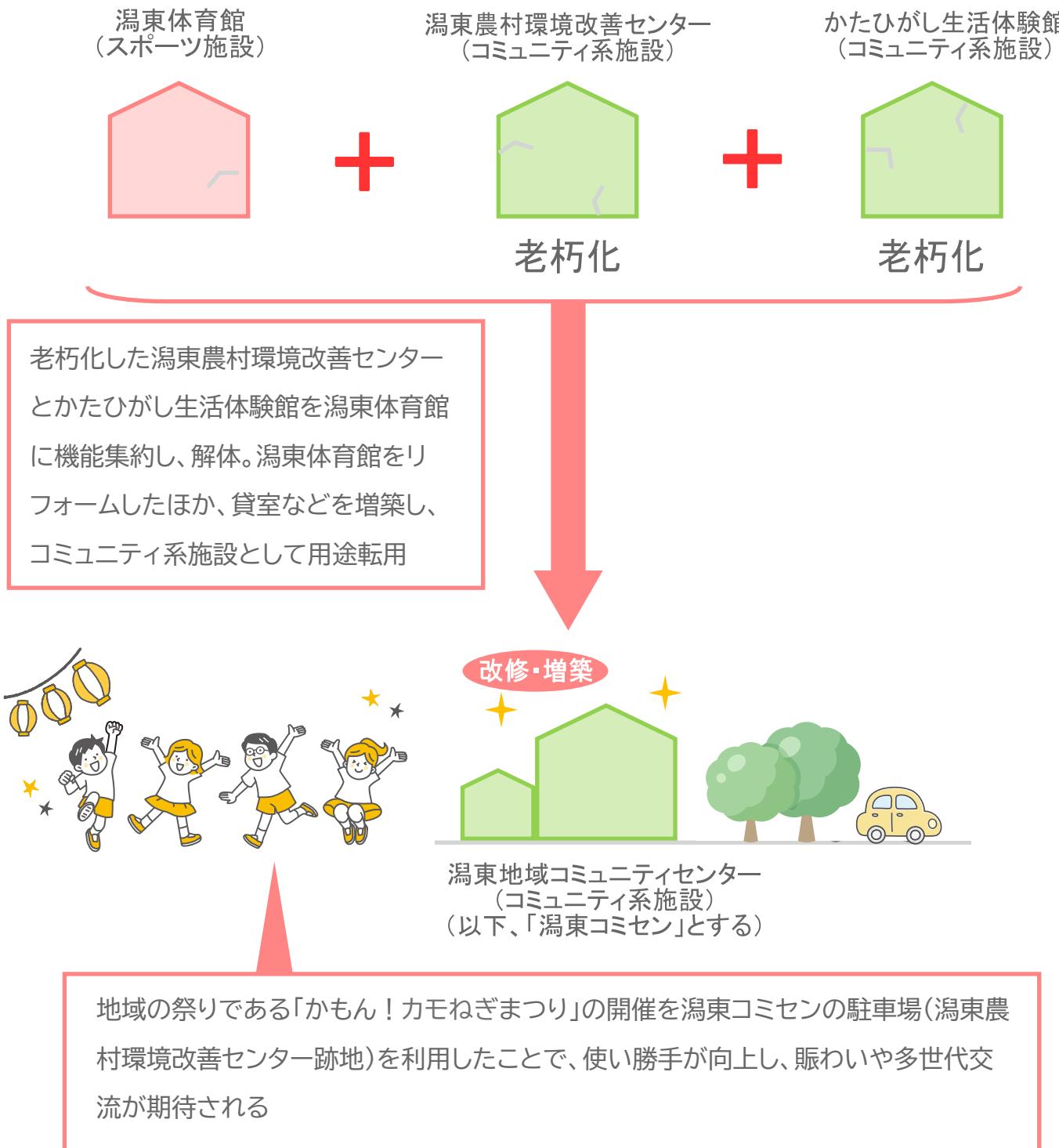


♪ダンスで仲良くなりました♪

事例紹介③

地域拠点として増築 潟東中学校区(西蒲区)

潟東地域では、3小学校の統合をきっかけとして、実行計画の検討に着手し、平成27年8月から翌年7月まで全7回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。



潟東コミセンを拠点とした地域のイベントが盛りだくさん！



①潟東コミセン外観 ②ふうせん潟リンピック ③コミセン自主事業 ④潟東コミセン周辺の田んぼで実施するどろんこカップ ⑤かもん！カモねぎまつりに出店する小学生

潟東のイベントは夏も冬も大盛況！ぜひご参加ください



潟東地域
コミュニティ協議会
事務局長 笹崎 清司 さん

潟東コミセンは、地域のクラブ活動のほか、週末は大会も行われ、卓球やエアロビクス、料理教室など、幅広い世代が活動しています。

また、当協議会では、潟東コミセンをメイン会場に、お祭りやイベントを開催しています。冬開催の「かもん！カモねぎまつり」や夏開催の「どろんこカップ」は他県からの参加者もいます。来たことがある人もない人も、ぜひご参加ください。





こどもたちに
豊かな未来を
つないでいくために

みんなの財産である
公共施設
大事に使いながら
住みやすいまちを
つくっていきましょう



新潟市HP
財産経営推進の
取り組み

〈発行者〉
新潟市財務部 財産活用課
令和7年12月発行